

**事業名** 歩道除雪車（1.0m級、簡易操作型）の開発  
**受賞機関** 国土交通省北陸地方整備局 北陸技術事務所  
**実施期間** 開発調査 平成15年度～17年度  
 現場普及追跡調査 平成18年度～平成19年度

従来機の課題	開発した機構	得られる効果
1 過負荷によりシュートの雪詰まりが発生	過負荷時走行停止機構 積雪深別速度制御機能	①作業効率が、約30%向上した。 ②レバーの操作回数が、約90%低減した。
2 操作レバー多く、操作が複雑	集約型操作レバー	③除雪後の残雪が、3cm以内での作業が可能となった。
3 縦断勾配変化部で残雪が発生	不陸自動追従機構	④費用対効果1.14の効果が期待できる。 (年間100時間稼働した場合)
4 ボルトナット式シャーピンは交換に時間を要する	ワンタッチ式シャーピン	

開発機の概要



歩道除雪作業

【事業概要と評価】

ボランティアでも容易に操作ができ、かつ残雪量が従来よりも少なくできることで住民の快適性も向上する有意義な装置。  
 使用に当たっては、使用が想定される住民の中に小型特殊免許を保有する者がどの程度いるかの把握は別途必要。

**事業名** 多自然川づくり「水辺の小わざ」作成業務  
**受賞機関** 山口県土木建築部河川課  
**実施期間** 平成20年8月～平成20年11月



(施工前)

- ・堰ゲート直下の魚類が魚道の入り口を見つけられない
- ・魚道入り口河床が下がり、干潮時に遡上できない

(施工後)

- ・魚道の流れをゲート側に向けるため魚道側壁上部を除去し、落差緩和のため外周プール設置
- ・魚類は魚道に導かれ、遡上が確認されている



(施工前)

- ・下流河床と段差があり魚類が遡上できない

(施工後)

- ・段差が解消され新魚道の遡上ルートも確保

【事業概要と評価】

実用的で、現場の担当者にも分かりやすいスタイルで生物協調型河川改修事例集を改訂。全国の河川改修にさらに資すると思量。